

山梨学習センター

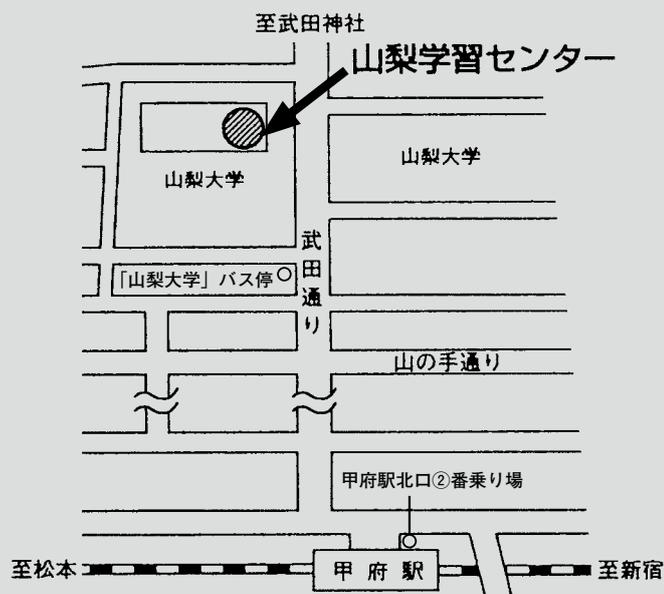
〒400-0016 甲府市武田4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)
TEL. 055-251-2238

開所時間

面接授業開講日：9：10～17：40

授業概要・時間割表

- JR中央線甲府駅北口から徒歩20分
- 甲府駅北口バス停2番乗り場から「武田神社行」又は「積翠寺行」バスで「山梨大学」下車 徒歩1分 (所要時間5分)



【開設科目・開講日一覧】

開設センター	科目区分	科目名	担当講師	科目コード	クラス	定員	10月		
							18日	19日	25日
							土	日	土
山梨学習センター(19A)	基盤科目：外国語	週末2日で楽しく中国語！	林 吟貞	2674386	K	40			
	基盤科目：保健体育	からだのうごきの科学	木島 章文	2674394	K	20			
	導入科目：人間と文化	音と絵の対話	小島 千か	2674408	K	15	1～4 時限	1～4 時限	
	導入科目：人間と文化	戦国合戦の虚像を剥ぐ	平山 優	2674416	K	40	1～4 時限	1～4 時限	
	導入科目：情報	プログラムってどうやって作るの	服部 元信	2674424	K	15			1～4 時限
	導入科目：情報	試して学ぶ人工知能	郷 健太郎	2674432	K	15			
	専門科目：生活と福祉	鞆すゝ服飾の原点の技法	岡松 恵	2674440	K	15		1～4 時限	
	専門科目：生活と福祉	がん医療の最前線	板倉 淳	2674459	K	30			1～4 時限
	専門科目：生活と福祉	リスクコミュニケーション論	奈良由美子	2674467	K	30			
	専門科目：社会と産業	クリスタル科学	武井 貴弘 綿打 敏司	2674475	K	20			
	専門科目：心理と教育	心理学実験1	酒井 厚	2668769	K	20			
	専門科目：心理と教育	心理学実験2	小野田亮介	2668777	K	15			
	専門科目：心理と教育	心理学実験3	酒井 厚	2668793	K	20			
	専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	渡部 雪子	2668815	K	30			
	専門科目：社会と産業	国土・環境破壊の危機	鈴木 猛康	2674483	K	20			
	専門科目：社会と産業	ワインの基礎知識	柳田 藤寿	2674491	K	22			
	専門科目：人間と文化	文化資源としての景観	菊地 淑人	2674505	K	25			
	専門科目：人間と文化	手で学ぶ幾何学的なデザイン	村松 俊夫	4001451	WK	30			
	専門科目：自然と環境	構造で理解するタンパク質の機能	大山 拓次	2674513	K	30			
	専門科目：自然と環境	富士山ー火山と水ー	内山 高	2674521	K	40			

10月	11月								12月						1月		開設センター
26日	1日	2日	8日	9日	15日	16日	29日	30日	6日	7日	13日	14日	20日	21日	10日	11日	
日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	
			1～4 時限	1～4 時限													
													1～4 時限	1～4 時限			
1～4 時限																	
					1～4 時限	1～4 時限											
								1～4 時限									
1～4 時限																	
								1～4 時限	1～4 時限								
	1～4 時限	1～4 時限															
								1～4 時限	1～4 時限								
									1～4 時限	1～4 時限			1～4 時限	1～4 時限			
			1～4 時限	1～4 時限													
					1～4 時限	1～4 時限											
	1～4 時限	1～4 時限															
									1～4 時限	1～4 時限							

山梨学習センター(19A)

面接授業概要

科目コード	2674386	授 業 概 要	【授業内容】 この講座では、初心者が旅行や日常で役立つ中国語を楽しく学びます。発音の基本（ピンイン）をリズム練習で身につけ、簡単なあいさつや買い物、飲食店での注文、道を尋ねる表現などを練習します。実践的なフレーズを厳選し、聞いて真似しながら、自然に会話ができるようになります。難しい文法は最小限にし、すぐに使える表現に集中します。短期間で効率よく学び、中国語の楽しさを体験しましょう！
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 ・中国語の発音（ピンイン）の基本を理解し、簡単な単語やフレーズを正しく発音できる。・基本的なあいさつや自己紹介ができるようになる。・旅行先で買い物や飲食店での簡単なやりとりができる。・タクシーの利用や道を尋ねる際の基本的な表現を理解し、伝えられる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 ゼロからスタート！中国語の音に慣れよう 第2回 中国語で自己紹介してみよう！ 第3回 レストランで注文してみよう！ 第4回 ショッピングで使える簡単フレーズ！ 第5回 タクシーや交通機関を利用しよう！ 第6回 道を聞いてみよう！迷わず目的地へ！ 第7回 旅先で役立つ！簡単なやりとり 第8回 学んだ中国語を試してみよう！
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 中国語が初めてでも大丈夫！楽しく学びながら、旅行や日常で役立つ表現を身につけましょう。短期間でも「話せた！」と実感できる内容になっています。一緒に楽しくチャレンジしましょう！
科目名	週末2日で 楽しく中国語！		【受講前の準備学習等】 事前に中国語の音（四声やピンイン）に触れ、自己学習に努めてください。講座では楽しく練習できるよう工夫していきますので、リラックスしてご参加ください！
科目区分	基盤科目：外国語		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
ナンバリング	110		【受講者が当日用意するもの】 当日配布するプリントを使用しますので、特別な準備は不要です。筆記用具と必要に応じてノートをご持参ください。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	リン キンテイ 林 吟貞 (山梨大学・非常勤講師)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
日程 実施時間	11月8日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月9日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2674394	授 業 概 要	【授業内容】 幅広い年齢層の運動が苦手な方を対象とした授業です。骨や筋肉を鍛えるのではなく、楽しく技を学びましょう。授業の中では散歩とキャッチボールを行います。授業時間内に頭と身体に汗をかいてもらって、筋肉や骨を強くするだけでなく、それを動かす知恵を楽しく学んでもらえる時間にしたいです。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 環境の変動を捉え、そこになじむ動きを立ち上げる知恵を得られるようになる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 歩行の力学と神経科学 第2回 この世と自身の動きを捉える生き物の知覚運動システム 第3回 学内散歩を実現する頭と身体の仕組みを、教室で理解する 第4回 学内散歩を実現する頭と身体の仕組みを、歩いて理解する 第5回 自分の身体を自由自在に動かす「知覚運動学習」の仕組み 第6回 ジャグリングの要領を身体で覚える 第7回 ジャグリング学習の仕組みを頭で理解する 第8回 頭と身体を使って世の中とつながるシステム設計
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 おしゃべりしながら、身体を動かしながら、楽しく私たちの頭と身体を動かす情報処理の仕組みを知りましょう。必要なのは万全の体調、それだけです。
科目名	からだのうごきの 科学		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	基盤科目：保健体育		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	110		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
担当講師	キジマ アキフミ 木島 章文 (山梨大学・教授)		
日程 実施時間	12月20日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月21日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2674408	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	音と絵の対話	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	15名	
担当講師	コソマ チカ 小島 千か (山梨大学・教授)	
日程 実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	★山梨大学音楽総合演習室 (山梨大学甲府キャンパス内)	
【授業内容】 ある情景から音や音楽を連想したり、音や音楽から何らかの視覚的印象が呼び起こされたりすることはありませんか？音や音楽は、聴いたり奏でたりするばかりでなく見ることも関連します。身近なもので音と絵の関連を考え、音楽を基にした絵や建築など芸術家の創造に触れ、音環境について考え、受講生のみなさんと絵を基に音楽をつくり、音や音楽の聴き方、見方を問い直してみたいと思います。		
【到達目標】 音や音楽と視覚的なものとの関連について、授業で取り上げた内容や授業での体験を基にして説明することができる。		
【授業テーマ】 第1回 効果音と音楽 第2回 様々な楽譜 第3回 パウル・クレーの絵と音楽 第4回 印象主義の音楽と絵 第5回 ジャズと絵 第6回 音楽と建築 第7回 音風景・サウンドスケープ 第8回 絵を基にした音楽づくり		
【学生へのメッセージ】 グループワークに積極的にご参加ください。		
【受講前の準備学習等】 身近なもので音・音楽と絵・図形などが関連する事柄を考えてみてください。また、音や音楽と視覚的印象が関連したご自分のご経験についても振り返っておいてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。		

科目コード	2674416	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	戦国合戦の 虚像を剥ぐ	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	ヒラヤマ マサル 平山 優 (健康科学大学・特任教授)	
日程 実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	
【授業内容】 戦国時代の合戦は、後世の軍記物や、講談などの影響により、実態とかけ離れたストーリーで語られています。今回は、前回の講座と同じ題名ですが、史実に迫るための方法論などを本講座では主題とし、史料、フィールドワークなどをもとにその実像に迫る方法を探っていきます。		
【到達目標】 戦国合戦の内容について、マスメディアや小説などで語られている通説と、現在の研究の到達点とを比較、検討し、それらの相違を説明することができる。		
【授業テーマ】 第1回 伊勢長島一向一揆論 第2回 長篠合戦450年目の真実Ⅰ 第3回 長篠合戦450年目の真実Ⅱ 第4回 賤ヶ岳合戦を読み解く 第5回 小牧・長久手合戦を地形から読むⅠ 第6回 小牧・長久手合戦を地形から読むⅡ 第7回 羽柴秀吉の紀州攻め 第8回 羽柴秀吉の四国統一		
【学生へのメッセージ】 戦国合戦のうち、東国と西国で著名なものを選び、最新の研究成果をもとにお話しします。合戦研究や城郭研究の進歩と、フィールドワークによって、合戦の実像がどのように語られるようになったのかを検証します。		
【受講前の準備学習等】 様々な媒体で講義の対象となっている合戦を自分で調べてみてください。そのうえで講義を受けられると、さらに理解が深まると思います。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 筆記用具など、通常の講義と同じです。		
【教科書】 教科書は使用しません。		
【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。		

科目コード	2674424	授 業 概 要	【授業内容】
学習センター	山梨学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
学習センターコード	19A		【受講前の準備学習等】
クラスコード	K		【受講者が当日用意するもの】
科目名	プログラムって どうやって作るの		【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
科目区分	導入科目：情報		コンピュータはプログラムに従って動く機械です。したがって、プログラムが作れるようになると、コンピュータをあなたの意のままに操ることができます。この授業では、C言語というプログラミング言語を用いて、コンピュータ・プログラミングの基礎について学びます。授業は実習を中心に進め、教科書に記載されたプログラム例を実際に入力して実行したり、プログラムの一部を変えてみたりすることで、プログラミングに関する初歩的な知識とスキルを身につけます。
ナンバリング	220		【到達目標】 C言語を用いて、基礎的なプログラムを作成することができる。
定員	15名		【授業テーマ】 第1回 プログラムってどうやって作るの？ 第2回 何かを出力させてみよう 第3回 データを入れる箱を使おう 第4回 データの入出力をしよう 第5回 ある条件のときに処理をさせよう 第6回 何度も繰り返して処理をさせよう 第7回 よく使う処理は関数にしよう 第8回 ファイル処理をマスターしよう
担当講師	ハットリ モトノブ 服部 元信 (山梨大学・教授)		【学生へのメッセージ】 主として、これまでにプログラミングの経験がない方を対象とします。また、実習を中心に行いますので、キーボードを見ながら構いませんが、文字入力に苦勞しない程度の初歩的なコンピュータのスキルが必要です。
日程 実施時間	10月25日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月26日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		【受講前の準備学習等】 ・ファイルのコピーなどコンピュータの基本的な使い方の復習をしておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の菜」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実施会場	山梨学習センター	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びプログラミングの実技テストの評点により行います。	
		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等） 3. ソフトのインストール Chromeブラウザが必要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。	
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
		【参考書】 ・明快入門C スーパービギナー編（林晴比古／ソフトバンククリエイティブ株） ／¥1,760／ISBN=9784797374612	
		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2674432	授 業 概 要	【授業内容】
学習センター	山梨学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
学習センターコード	19A		【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】
クラスコード	K		を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
科目名	試して学ぶ 人工知能		人工知能やAIと呼ばれるものは、いまや生活の中に溶け込んでいます。私たちの使うシステムやサービスの背景には人工知能が実際に活躍をしています。この講義では、人工知能を理解するための第一歩として、その特徴を平易に説明します。さらにコンピュータを使った簡単な実習をとおして、内容の理解を深めます。この講義の終了時には、人工知能で何ができるのか説明できるようになります。
科目区分	導入科目：情報		【到達目標】 ・人工知能の基本的な考え方を理解し、人工知能で何ができるのか説明できるようになる。 ・生成AIの使い方についてその特徴を把握し、利点や欠点を的確に説明できるようになる。
ナンバリング	210		【授業テーマ】 第1回 人工知能とは何か 第2回 さっそく使ってみよう 第3回 生成系AI：文章生成 第4回 生成系AI：プロンプトエンジニアリング 第5回 生成系AI：画像生成 第6回 応用編：AIを作る1 第7回 応用編：AIを作る2 第8回 ふりかえりとまとめ
定員	15名		【学生へのメッセージ】 この講義ではコンピュータを使った実習を行います。初歩的なコンピュータのスキルが必要です。
担当講師	ゴウ ケンタロウ 郷 健太郎 (山梨大学・教授)		【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
日程 実施時間	11月15日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月16日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	山梨学習センター	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ウェブカメラ付きのノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS、Android等)。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2674440	授 業 概 要	【授業内容】 現在、日本の多くの都道府県では、増えすぎた鹿による諸問題に悩まされています。しかしその鹿の革こそ、日本の衣生活を支えてきた皮革でもあるのです。ところで動物の皮は、本来、そのままでは腐ってしまいます。それを衣服材料にするために必要となるのが「鞣（なめ）し」の技法です。本授業では、鹿問題や鹿革についての知識を学びながら、実際に鹿の皮を鞣してみます（1日目）。その後自宅にて鞣しの工程を続けてもらい、約1カ月後、仕上がった革を持参していただき、作品をつくります（2日目）。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 ・現代日本における鹿問題について、説明することができる。・日本の衣生活における鹿革の利用について、説明することができる。・鞣しの理論と工程について説明することができる。・実際に鹿皮を鞣し、作品製作することができる。・鹿革の学習や鞣す実習から得た見識を活かし、自身の衣生活をより良いものにすることができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 鹿問題と鞣しの工程について（講義） 第2回 水戻し・洗浄・脱脂（塩蔵・氷蔵した皮を洗う）、フレッシュ（内側の肉をそぐ）、脱毛 第3回 脱毛（続き）、脱灰、鞣しの歴史について（講義） 第4回 洗浄・脱水、タンニン液仕込み 第5回 日本における鹿革の利用（講義）、鹿革の作品づくり 第6回 鹿革の作品づくり（続き） 第7回 鹿革の作品づくり（続き） 第8回 作品発表とまとめ
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 未経験者を対象としています。製作進度によっては各回の内容が変わります。技法の理解や習得を目指しているため、立派な作品はつくれません。少々、血肉に触れる内容です。簡単な宿題があります。
科目名	鞣す－服飾の 原点の技法		【受講前の準備学習等】 1日目（10/19）は、タンニン液に清込んだ鹿皮をビニール袋に入れて持ち帰り、プリントを参考に、自宅でタンニン濃度を引き上げたり、乾燥させたりして仕上げます（事後学習）。2日目（11/30）は自宅で鞣した鹿革を持参し、簡単な鹿革作品を製作するので、どんなものを作るか、ある程度考えておいてください（事前学習）。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 1日目（10/19）：マスク、台所用等のゴム手袋。 2日目（11/30）：（必要があれば）裁縫道具。両日とも：筆記用具。動きやすく汚れても良い服装でお越し下さい（1日目は、使い捨てのエプロンを配布します）。水分補給のための飲み物は、フタの閉まる容器のものをお願いします。
定員	15名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	オカマツ メグミ 岡松 恵 (山梨大学・准教授)		【その他（特記事項）】 2日目（11/30）の製作では、ミシンや簡単な裁縫道具を貸し出すことができます。マジックペン、刺繍糸やボタン、ビーズなど、加飾のための材料はご自身でご持参ください。
日程 実施時間	10月19日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月30日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター及び★山梨大学被服実験室・被服構成実習室)		

科目コード	2674459	授 業 概 要	【授業内容】 平成19年に始まったがん対策推進基本計画も令和5年からは「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を掲げた第4期計画が始まっています。この間、生存率の向上に反映される著しい医療の進歩を遂げると同時にがん医療を取り巻く社会環境や人々の考え方も大きく変わりつつあります。この講座ではこれらの変遷を「がんの疫学」、「がんの病理」、「がんの診断」、「がんの治療」をテーマに、さらに第4期計画でも主要テーマとなっている「がんとの共生」を加え学習を行います。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 国民の健康保険を理解するため、最新の「がんの疫学」、「がんの病理」、「がんの診断」、「がんの治療」を学習し、がん対策推進基本計画の目指すところを説明できるようになる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 がんの疫学－1 第2回 がんの疫学－2 第3回 がんの診断－1 第4回 がんの診断－2 第5回 がんの治療－1 第6回 がんの治療－2 第7回 がんとの共生－1 第8回 がんとの共生－2
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 この10年余りで、生存率の向上に反映されるようにがん医療は著しい進歩を遂げています。同時にがん医療を取り巻く社会環境や人々の考え方も大きく変わりつつあります。この講座では最新の情報を提供するとともに、相互の経験や考えを共有することによりこれからのがん医療と一緒に考えていきたいと思っています。
科目名	がん医療の最前線		【受講前の準備学習等】 自分自身や周囲で経験あるいは見聞きした「がん医療」について、感じたこと、疑問に思った事をまとめておいてください。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【成績評価の方法】 授業中の学修と情報共有の参加状況及び第8回で行うグループワークでの成果（発表）の評価により行います。
ナンバリング	310		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	30名		【その他（特記事項）】
担当講師	イタクラ ジュン 板倉 淳 (山梨大学・非常勤講師)		
日程 実施時間	10月25日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月26日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2674467	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	リスクコミュニケーション論	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナラ ユミコ 奈良 由美子 (放送大学・教授)	
日程 実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月30日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	
【授業内容】 わたしたちが生きる現代について「現代はリスク社会である」との記述がしばしば用いられます。この記述の意味を論じる際には、①リスクの客観的な様相の局面、②リスクの主観的な認識の局面、そして③リスクへの対処の局面を考えなければなりません。この授業では、まずリスクの様相についておさえたうえで、主にリスクの認識(リスク認知)と対処の局面(リスクコミュニケーション)について具体的な事例を交えながら考えます。 【到達目標】 リスクマネジメントの実践にむすびつけるため、リスクコミュニケーションとは何かを理解したうえで、実際の事例を見ながら手法について知識を得たうえで、具体的な問題にあてはめて考察できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 緒言(授業の構成、授業のねらい、授業と評価の方法) 第2回 リスクの様相(リスク定義、リスクの本質、不確実性、リスクの分類、リスクの実際) 第3回 リスクの認知(1)(主観リスク、客観リスク、ヒューリスティック、認知バイアス) 第4回 リスクの認知(2)(リスクの受容、便益、ゼロリスク要求) 第5回 リスクの認知(3)(個的要因、文化的・環境的要因、日本人のリスク観) 第6回 リスクコミュニケーション(1)(欠如モデル、リスクコミュニケーションの概念と目的、相互作用プロセス、技法) 第7回 リスクコミュニケーション(2)(信頼、伝統的信頼モデル、主要価値類似性モデル、リスクガバナンス、事例) 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 この授業では、いかにわたしたちがリスクを客観的には見ていないかということを理解します。さらに、立場の異なる人たちのあいだでリスクに対処するための手法の一つであるリスクコミュニケーションについて学びます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】		

科目コード	2674475	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	クリスタル科学	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	タケイ タカヒロ 武井 貴弘 (山梨大学・教授) ワタウチ サトシ 綿打 敏司 (山梨大学・教授)	
日程 実施時間	11月1日(土) 第1時限 9:50～11:20 識・レポート等 11:5～11:20 第2時限 11:30～13:00 識・レポート等 12:45～13:00 第3時限 13:50～15:20 識・レポート等 15:5～15:20 第4時限 15:30～17:00 識・レポート等 16:45～17:00 11月2日(日) 第1時限 9:50～11:20 識・レポート等 11:5～11:20 第2時限 11:30～13:00 識・レポート等 12:45～13:00 第3時限 13:50～15:20 識・レポート等 15:5～15:20 第4時限 15:30～17:00 識・レポート等 16:45～17:00	
実施会場	山梨学習センター及び ★山梨大学クリスタル科学研究センター	
【授業内容】 クリスタル(結晶)は、宝飾産業を地場産業の一つとする山梨県に密接に関わっています。山梨大学のクリスタル科学研究センターでは、これまで、水晶、ルビーやルチルなどの人工合成技術を開発してきており、現在ではその技術を機能性無機材料へ応用する研究を行っています。本講義では、クリスタルに慣れ親しんでもらうためにクリスタルの基礎について科学的に解説するとともに人工水晶などのクリスタル作りの実習を行います。 【到達目標】 ・結晶の特徴と社会における役割、また、山梨県における結晶に関する産業の位置づけを理解し説明できる。・結晶の合成方法を理解し説明することができる。・結晶の水熱合成実験を通じて、水溶液からの結晶生成について理解し説明できる。・融液からの結晶生成実験を通じて、融液からの単結晶の育成について理解し説明できる。・結晶の光学特性や特性の測定などについての知識を深め、理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 結晶とは 第2回 結晶はどのようにしてできるか 第3回 人工水晶を作ろう1(溶解→析出による結晶育成) 第4回 結晶の顕微鏡観察 第5回 人工宝石を作ろう1(融解→凝固による結晶育成) 第6回 人工水晶を作ろう2 第7回 人工宝石を作ろう2 第8回 物質の色 【学生へのメッセージ】 結晶に関する基礎知識を学び、人工宝石の合成、顕微鏡観察および分光器の作製などの実習を行います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び各回で課す小テストにより行います。 【受講者が当日用意するもの】 センター内移動用に上履きを持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)		

科目コード	2668769	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1		この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「ミュラー・リヤー錯視」、「心理尺度」、「対人魅力」の3種類です。原則として8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 ミュラー・リヤー錯視1：実験 第3回 ミュラー・リヤー錯視2：データの処理と解説 第4回 心理尺度1：実験 第5回 心理尺度2：データの処理と解説 第6回 対人魅力1：実験 第7回 対人魅力2：データの処理と解説 第8回 まとめ
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)		
日程 実施時間	11月29日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月30日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。なお、紙媒体でレポートを提出した方で返却を希望する方は申し出てください。また、レポートに関するコメント等は行いません。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。
実施会場	山梨学習センター	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。Wordが必要。Excelが必要。Wordとエクセルが入っているパソコン 筆記用具 定規 グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。また、セキュリティを最新のものに更新しウイルス対策を行ってください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B.フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。	

科目コード	2668777	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	山梨学習センター		心理学における基礎的実験として「記憶範囲」「メンタルローテーション」「要求水準」の3つを取り上げます。受講生の皆さんは、これらの実験に実験者あるいは参加者として取り組み、分析結果をレポートとしてまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ分析の方法、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として全8回の授業にすべて出席し、3つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。
学習センターコード	19A		【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション：心理学実験とは 第2回 記憶範囲：実験 第3回 記憶範囲：データ分析・レポート執筆指導 第4回 メンタルローテーション：実験 第5回 メンタルローテーション：データ分析・レポート執筆指導 第6回 要求水準：実験 第7回 要求水準：データ分析・レポート執筆指導 第8回 全体のまとめ
科目名	心理学実験2		【学生へのメッセージ】 実験の実施とデータ分析、およびレポート作成にはパソコンを 사용합니다。基本的なパソコン操作（Word、Excelの計算や図表作成を含む）については、あらかじめ各自で習得していることが望ましいです。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。WordやExcelの基本的な操作について確認しておくことをお勧めします。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みの状況、およびレポートの評点により行います。
定員	15名		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等） 3. ソフトのインストール ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。Wordが必要。Excelが必要。Wordが必要。Excelが必要。Wordが必要。Excelが必要。 4. その他 マウスを持参してください。ソフトのバージョン指定はありません。
担当講師	オノダ リョウスケ 小野田 亮介 (山梨大学・准教授)		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	12月13日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月14日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2668793	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「鏡映描写」、「ストループ効果」、「囚人のジレンマ」の3種類です。原則として8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 鏡映描写1：実験 第3回 鏡映描写2：データの処理と解説 第4回 ストループ効果1：実験 第5回 ストループ効果2：データの処理と解説 第6回 囚人のジレンマ1：実験 第7回 囚人のジレンマ2：データの処理と解説 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。なお、紙媒体でレポートを提出した方で返却を希望する方は申し出てください。また、レポートに関するコメント等は行いません。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。Wordが必要。Excelが必要。 4. その他 マウスを持参してください。ソフトのバージョン指定はありません。 ・ワードとエクセルが入っているパソコン ・筆記用具（黒鉛筆、赤鉛筆） ・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B.フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN＝9784762820465） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。色識別を要する実験課題があります。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)	
日程 実施時間	12月6日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月7日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	山梨学習センター	

科目コード	2668815	授 業 概 要	【授業内容】 心理検査によるアセスメントの基礎知識について解説するだけでなく、実際に心理検査を体験し、各種心理検査の採点方法・解釈について理解することを目的としています。自分自身が心理検査を体験しながら、心理検査の理論や査定（アセスメント）について検討していきます。臨床現場における心理検査の実施にあたって気を付けるべきことや活用の仕方についても学びます。 ※原則として8回の授業すべてに出席し、3種類すべてのレポートを提出する必要があります。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（心理検査とアセスメントについて） 第2回 心理検査の種類と概要 第3回 検査実習①エゴグラム 第4回 解説＋心理検査①レポート執筆指導 第5回 検査実習②文章完成法・PFスタディ 第6回 解説＋実習②レポート執筆指導 第7回 検査実習③（バウムテスト・風景構成法） 第8回 心理検査の活用と注意点＋総まとめ
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 様々な心理検査について学びを深め、実際に体験しながらご自身の結果について考察していきます。心理検査の結果がどのように活かされていくのかについて理解するために、臨床現場で用いられる所見形式に沿ってレポートを作成します。この授業を通じて自己理解や他者理解を深めていただければと思います。
科目名	心理検査法 基礎実習		【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・実習で使用する心理検査についてあらかじめ調べておく必要はありません。 ・「心理学概論」等で既習の「心理学の研究方法」、「パーソナリティ心理学」、「臨床心理学」等について復習をしておいてください。 ・パソコンを持参してレポート作成を行うことも可能です。パソコンを持参してのレポート作成は、メールでの提出となりますので、キャンパスメールの使用ができるようにしておいてください。 ・パソコンを持参の場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 ・鉛筆2、3本と消しゴム、赤のボールペン、定規（短いものでよい） ・色鉛筆（12本入り） ・レポートをPCを用いて作成される場合には、ノートパソコンを持参してください。 ・レポートは紙媒体での提出も可能です。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ワタバ ユキコ 渡部 雪子 (山梨大学・准教授)		【参考書】 ・心理的アセスメント（公認心理師の基礎と実践）（津川律子（著 編集）、遠藤裕乃（著 編集）、酒井佳永（著）、遠矢浩一（著） 小山充道（著）、武山雅志（著） & 11その他／遠見書房／¥2,740 / ISBN=9784866160641）
日程 実施時間	12月13日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月14日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート等 16:15～17:00		【その他（特記事項）】 パソコンを持参する場合は、事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2674483	授 業 概 要	【授業内容】 2025年に米国で新トランプ政権がパリ協定からの離脱を発表し、我が国のエネルギー政策も大きな転換を迎える可能性があります。この授業では、新炭エネルギーを過剰に用いた産業革命前の人類の繁栄が招いた森林破壊から始まり、リゾート法による地方の国土破壊、行き過ぎた再生可能エネルギー開発が国土・環境危機を招いている現状までを理解してもらいます。その結果、様々な開発案件について、国土・環境破壊の観点から、受講生の皆さんが正しい判断ができることを目指します。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 ・開発と国土・環境保全はトレードオフの関係にあることを理解できる。・エネルギーを利用した産業の発展と国土・環境破壊の歴史について説明できる。・地球温暖化対策について正しく理解できる。・盛土規制法の概要について説明できる。・開発の良否について、国土・環境保全の観点から判断することができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 はじめに - 開発と国土保全はトレードオフの関係 - 第2回 西欧と日本のエネルギーと国土・環境破壊の歴史 第3回 日本列島改造とリゾート法による地方の疲弊 第4回 林地開発許可に関わる課題 第5回 我が国における国土・環境破壊の実態 第6回 地球温暖化対策として洋上風力は切り札となりうるか 第7回 盛土規制法は国土・環境保全の救世主となりうるか 第8回 まとめ - これからの国土・環境保全 -
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 トランプ大統領による再エネに後ろ向きな新たなエネルギー政策を機に、我が国のエネルギー政策によってもたらされた国土・環境破壊について学ぶと、きっと国土・環境保全に対する考え方が変わると思います。
科目名	国土・環境破壊の危機		【受講前の準備学習等】 地球温暖化対策、再生可能エネルギー、電力料金の仕組み等、テレビ、インターネットで毎日のように情報が流れています。これらを少し注意して見るようにし、わからないことはネットで検索するなど、自己学習に努めてください。できれば、「増災と減災（鈴木猛康、理工図書、2023）」を事前に読んでいただくと、授業が理解しやすいと思います。
科目区分	専門科目：社会と産業		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具とノートをご準備ください。また、教科書として指定する書書を持参し、参照するようにしてください。
定員	20名		【教科書】 ・国土・環境破壊の危機（鈴木猛康／理工図書／¥2,000）現在執筆中です。定価は予定価格です。
担当講師	ススキ タケヤス 鈴木 猛康 <small>（山梨大学 学務課長 / NPO法人推進機構 理事長 / (一社) 日本国土・環境保全協会 代表理事）</small>		【参考書】 ・増災と減災（鈴木猛康／理工図書／¥2,200 / ISBN=9784844609292）事前に学習していただくと、授業が理解しやすいです。
日程実施時間	12月20日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月21日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		【その他（特記事項）】
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2674491	授 業 概 要	【授業内容】 ワインに関する基礎を学びます。ワインの原料である「ぶどう」、アルコールを造る「酵母」やワイン醸造法等の基礎知識や最新の日本ワイン情報を身につけていただきます。また、講義の後半には、実際のワイン醸造現場での学習も行います。さらに、ワインを美味しく味わうために、実際にワインのテイastingを体験実習します。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 赤ワインや白ワインの醸造方法の違いや、日本ワインの最新情報を説明することが出来る。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 ワインとブドウ 第2回 ワイン醸造と微生物 第3回 海洋酵母ワインと赤池幻酵母ワイン、開府500年スパークリングワイン 第4回 ワインと健康 第5回 日本ワインについて 第6回 ワインのテイastingについて 第7回 ワイン科学研究センターの説明と見学 第8回 ワインの保存方法及びワインを飲むときの正しいマナーについて
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 注1) 面接授業2日目最終講義終了後、ワインのテイastingの講習を行います。 注2) テイastingには受講者全員の参加を希望します。 注3) 20歳未満、車での来校者は受講出来ません。
科目名	ワインの基礎知識		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	専門科目：社会と産業		【成績評価の方法】 面接授業2日目第3時限に簡単なレポートを課し、その評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 テイasting代として、当日2,000円いただきますのでご用意ください。
定員	22名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヤナギタ フジトシ 柳田 藤寿 <small>（山梨大学ワイン科学研究センター・教授）</small>		【その他（特記事項）】
日程実施時間	1月10日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 1月11日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～14:35 試験・レポート等 14:35～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター及び1月11日（日）のみ ★山梨大学ワイン科学研究センター		

科目コード	2674505	授 業 概 要	【授業内容】 ひとと自然の関わりあいのなかで形成された景観を「文化的景観」(cultural landscape)といいます。文化遺産保護のなかで制度的に位置づけられた語であり、視覚的な景観とともに、それをかたちづくる地域のシステムを価値づけ、保全継承しようとする考えです。本科目では、講義と現地見学を通じて、その概念、価値理解の方法、保全・継承と地域づくりのあり方などについて学ぶとともに、文化的景観が文化遺産保護制度にとどまらず持続可能な豊かな社会創造に果たす役割を議論することで、文化資源としての文化的景観の役割・展望について考察します。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 文化的景観の概念・考え方を理解し、身近な地域を文化的景観として捉え、その活かし方などを考えることができるようになる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 景観とは？／日本における景観論 第2回 世界・日本における文化的景観保護：世界遺産と文化財保護法 第3回 文化的景観としての読み解き(1) 第4回 文化的景観としての読み解き(2) 第5回 現地見学：勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観 第6回 現地見学：勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観 第7回 現地見学まとめ／文化的景観の価値と保全・活用 第8回 文化的景観概念の広がり
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 座学における学びと日本有数のブドウ産地・ワイナリー醸造地である勝沼の文化的景観の現地見学を通じて、文化資源としての景観のみかた、活かし方の基本を学習していきましょう。
科目名	文化資源としての景観		【受講前の準備学習等】 シラパスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	専門科目：人間と文化		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 2日目午前は「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」に関する現地見学(まちあるき)を実施します。歩きやすい服装・靴等(雨天の場合は雨具)、飲み物などを用意してください。
定員	25名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	キクチ ヨシト 菊地 淑人 (山梨大学・准教授)		【参考書】 ・勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書(山梨大学大学院総合研究部生命環境学域菊地研究室、甲州市教育委員会文化財課 編／甲州市／)非売品(公共図書館等でご覧ください)甲州市ホームページでPDFにて閲覧可(https://www.city.yamanashi.jp/docs/2021061600037/) ・歴史は景観から読み解ける：はじめての歴史地理学(上杉和央／ペレ出版／¥1,870／ISBN=4860646347)
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月9日(日) 第1時限 9:00～10:30 第2時限 10:35～12:05 第3時限 13:00～14:30 第4時限 14:40～15:25 議・レポート 15:25～16:10		【その他(特記事項)】 1日目は山梨学習センター講義室、2日目は甲州市勝沼町内(午前)及び甲州市勝沼ぶどうの丘会講室(午後)で実施します。現地へのアクセス、集合時間・場所については、科目登録決定後、詳細を学習センターより受講者に通知します。※現地見学では3時間程度をかけて、6～7km程度を徒歩で移動する予定です(少雨実施)。歩く距離がやや長いので、体調管理には十分気を付けてください。※見学施設の入館料が必要となります(自己負担100円程度)。※「学生教育研究災害障害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
実施会場	山梨学習センター及び11月9日(日)のみ ★甲州市勝沼ぶどうの丘		

科目コード	4001451	授 業 概 要	【授業内容】 絵画や彫刻とは違って「デザイン」には、美しさだけではなく社会性(役に立つか)や合理性(道理にかなっているか)が求められます。それらの条件を満たすために「幾何学的な造形手法」を取り入れることがあります。そのようなデザインの内容を、初歩的なものからすこし高度なものまで、紙を材料に三角定規やコンパス、ハサミなどを使い、実際に手を動かしながら実習形式で楽しく学んでいきます。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 幾何学的デザインのいくつかについてその原理を説明できる。幾何学的デザインのいくつかを正確に制作することができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 かたちを構成する原理：○を組み合わせて「家紋」を描こう 第2回 □を使ってラセンを描く：「アルキメデスの螺旋」を描いてみよう 第3回 古典的パズル：「T字パズル」に挑戦しよう 第4回 充填模様：隙間なく同じ「五角形タイル」で平面を敷き詰めよう 第5回 分割再構成パズル1：「タングラム」で遊ぼう 第6回 分割再構成パズル2：「清少納言知恵板」で構成しよう 第7回 裏返る造形：「ヘキサフレクサゴン」をつくろう 第8回 球体折り紙：折り紙で「パッケージになる立体」を制作しよう
クラスコード	WK		【学生へのメッセージ】 授業の特質上、Webカメラの準備は必須です。特段の専門的知識や技能は必要ありませんが、細かい作図や作業があります。演習中心の授業なので、受講生の皆さんの主体的な取り組みに期待します。
科目名	手で学ぶ幾何学的なデザイン		【受講前の準備学習等】 事前配布資料を読み、予習をしておいてください。各回の「キーワード」でインターネット上を検索し、周辺の予備知識も得ておいてください。受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページを必ずご確認ください。授業内では割愛した実習課題に取り組んでみることもお勧めします。
科目区分	専門科目：人間と文化		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具(鉛筆、消しゴム)、直定規(30cm程度)、三角定規セット(1辺24～30cm程度のもの)、コンパス(閉じたときの長さが15cm程度のもの)、ハサミ、のり(スティックのり等)※上記は普通の事務用のもので構いません。大きめのものであれば百貨ショップのものでも可。 ・各種紙の材料は学習センターで用意し、郵送します。 ・インターネット環境のあるパソコン(Webカメラ必須)、マイク・ヘッドフォン等、Web(Zoom)授業の受講に必要な設定等の準備が必要です。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配布します。
担当講師	ムラマツ トシオ 村松 俊夫 (放送大学山梨学習センター・所長)		【その他(特記事項)】 授業の特質上、Webカメラの準備は必須です。教科書欄に記載のプリントは事前に郵送します。「ライブWeb授業」は、Web会議システム(Zoom)を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。授業当日は、専用のシステムにログインし、各自の仮想の講義室(Zoomミーティング)へもそこから入室します。また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。受講の際には必ず当該システムを確認してください。詳細については、 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月16日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)		

開設科目・開講日一覧

茨城

栃木

群馬

新潟

山梨

長野

科目コード	2674513	授 業 概 要	【授業内容】 「タンパク質」と聞けば真っ先に筋肉が思い浮かぶと思いますが、私達は筋肉以外にもたくさんの種類のタンパク質を持ち、それぞれが固有の機能を果たすことで、初めて私達は健康に生きることが出来ます。タンパク質の機能はナノレベルで精密に設計された立体構造に基づきます。本授業前半では、タンパク質の立体構造や構造決定法の基礎を学びます。後半では、様々なタンパク質の構造と機能の関係について、グラフィックスを使って理解を深めます。さらに、タンパク質立体構造データベースにアクセスし、構造情報の利用法をマスターします。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 様々なタンパク質がそれぞれ固有の機能を持つことを、立体構造の視点に基づいて説明することができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 タンパク質立体構造で理解するノーベル賞 第2回 タンパク質立体構造の基礎 第3回 タンパク質立体構造決定法 第4回 X線結晶構造解析とは？ 第5回 構造で理解するタンパク質の機能 (1) DNAはいかにして複製されるか？ 第6回 構造で理解するタンパク質の機能 (2) 遺伝子発現制御の仕組み 第7回 構造で理解するタンパク質の機能 (3) 大きな運動を起こすタンパク質の話 第8回 タンパク質構造図鑑 (プロテインデータバンク)
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 タンパク質の構造機能相関を詳しく理解するためには生化学の知識が必要となりますが、過度に専門的とならぬよう、平易な説明を心掛けます。
科目名	構造で理解する タンパク質の機能		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	30名		【参考書】 ・構造生物学 (これからの生命科学) (樋口芳樹・中川敦史/共立出版/¥4,070 / ISBN=9784320057012) ・入門構造生物学 (高工エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター/共立出版/¥4,180 / ISBN=4320057043)
担当講師	オオヤマ タクジ 大山 拓次 (山梨大学・教授)		【その他 (特記事項)】
日程 実施時間	11月1日 (土) 第1時限 9:50 ~ 11:20 第2時限 11:30 ~ 13:00 第3時限 13:50 ~ 15:20 第4時限 15:30 ~ 17:00 11月2日 (日) 第1時限 9:50 ~ 11:20 第2時限 11:30 ~ 13:00 第3時限 13:50 ~ 15:20 第4時限 15:30 ~ 16:15 議・ポ・博 16:15 ~ 17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2674521	授 業 概 要	【授業内容】 富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山への関心は海外でも高まっていますが、富士山についての自然科学的な側面については学ぶ機会がなかなかありません。特に、自然科学的な側面の内、火山としての富士山、まためぐみとしての水に関する、最新の自然科学的成果について解説も多くありません。本講義では、地球や日本列島の誕生から活火山としての富士山の成り立ちまでを基礎とします。そのうえで、富士山での水のめぐみについて話をしたいと思います。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 噴火の際に自分の身を守るために、どうすればよいかを理解できる。また、火山の大きなめぐみについて自然科学的側面から理解できるようになる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 日本の地質 第2回 火山の基礎と噴火様式 第3回 富士山の成り立ち 第4回 火山の噴火災害とめぐみ 第5回 生命を支える地球の水・水の基礎知識 第6回 様々な水質とその起源 第7回 富士山のめぐみ 水 第8回 全体のまとめ
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 火山噴火は時に多大な災害や被害をもたらしますが、静穏時にはより大きなめぐみを与えてくれます。このような火山として、富士山の光と影について、自然科学的側面から一緒に考えていければと思います。
科目名	富士山 -火山と水-		【受講前の準備学習等】 シラバスを参考にして、参考図書を読んで自己学習に努めてください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 富士山に関する情報、特に火山及び水資源に関する情報を集めてみてください。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ウチヤマ タカシ 内山 高 (山梨県富士山科学研究所・研究員)		【参考書】 ・地球進化 46億年の物語 (ブルーバックス) (ロバート・ヘイゼン (著) 円城寺守 (監訳) 渡会圭子 (翻訳) / 講談社 / ¥1,276 / ISBN=9784062578653) 地球・太陽系の誕生からはじめて、地球の歴史についてまとめられています。 ・地学雑誌 小特集:富士山の地下水 (地学雑誌、126巻 (2017) 1号) 2. (地学雑誌、129巻 (2020) 5号 (内山高ほか/東京地学協会/¥0) 次のURLから、該当する論文のPDFファイルをダウンロードすることができます。https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents/-char/ja/ ・富士山境目図鑑 (山梨県富士山科学研究所/丸善出版/¥2,420 / ISBN=9784621305119) 火山の参考図書としておすすめします。 ・現場で熱を感じ探る 火山の仕組み (宇井忠英/ベレ出版/¥2,420 / ISBN=9784860647360) 火山噴火の現象毎に写真などを使用して、火山とは何か噴火の仕組みなどが解説されています。
日程 実施時間	12月6日 (土) 第1時限 9:50 ~ 11:20 第2時限 11:30 ~ 13:00 第3時限 13:50 ~ 15:20 第4時限 15:30 ~ 17:00 12月7日 (日) 第1時限 9:50 ~ 11:20 第2時限 11:30 ~ 13:00 第3時限 13:50 ~ 15:20 第4時限 15:30 ~ 16:15 議・ポ・博 16:15 ~ 17:00		
実施会場	山梨学習センター	【その他 (特記事項)】	